

湖沼水質保全計画の評価

期 計画期間 (年度)	(年度)	水質の推移(mg/l)														流入負荷量の推移(t/日)						湖沼計画の評価 (環境審議会資料より)
		COD75%				COD平均(参考)				T - N				T - P		COD		T - N		T - P		
		北湖		南湖		北湖		南湖		北湖		南湖		南湖		実測	計画	実測	計画	実測	計画	
		実測	計画	実測	計画	実測	計画	実測	計画	実測	計画	実測	計画	実測	計画							
第5期 H18 (2006)	H17	3.0	2.8	4.2	3.5	2.6	2.4	3.2	2.9	0.30	0.27	0.36	0.35	0.018	0.015	37.1	38.4	15.8	16.9	0.81	0.86	水質保全対策の進捗により、窒素、リン等による富栄養化の進行は抑制されてきたが、有機汚濁の指標であるCODの低下にまではつなげていない。 難分解性有機物がCODが低下しない要因と考えられるものの、陸域からの流入負荷量が増加していないことから、陸域由来の難分解性有機物は、CODが低下しない直接的な要因ではない。 南湖湖辺部において、水草繁茂により閉鎖性が高まる水域でCODが上昇しており、湖流回復などの対策が必要である。
H22 (2010)	H22	2.9	2.9	5.0	4.2	2.6	2.6	3.6	3.1	0.25	0.30	0.28	0.33	0.016	0.018	32.9	38.3	14.6	17.2	0.68	0.79	
				×				×														
第6期 H23 (2011)	H22	2.9	2.9	5.0	4.2	2.6	2.6	3.6	3.1	0.25	0.3	0.28	0.33	0.016	0.018							
H27 (2015)	H27																					

第1期と2期のH2の水質が異なるのは杉江沖の環境基準点の移動のためである。

計画と実績の基準年で負荷が異なるのは原単位等の見直しのためである。

：目標が達成されている場合 ×：現状より水質改善されていない場合 ：目標は達成されていないが、水質改善もしくは負荷量削減がなされた場合